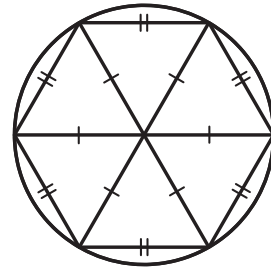


【正多角形】

すべての辺の長さが等しく、すべての角の大きさも等しい多角形を、正多角形といいます。

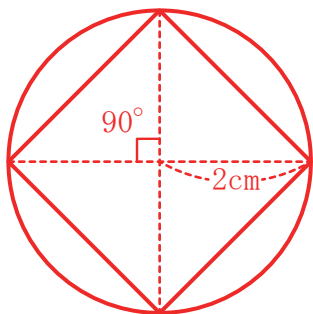
【円を使った正多角形のかき方】

正多角形は、図のように、円の中心の周りの角を等しく分けて半径をかき、その半径のはしの点を順にむすんでかくことができます。



この時できた三角形は、すべて合同な三角形です。

【1】半径 2 cm の円をかいて、その円を使って正四角形（正方形）をかきなさい。

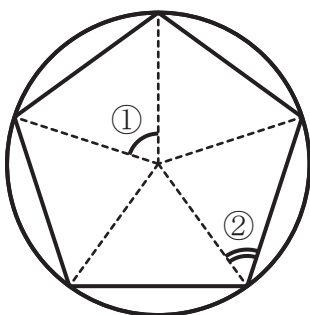


※かき方

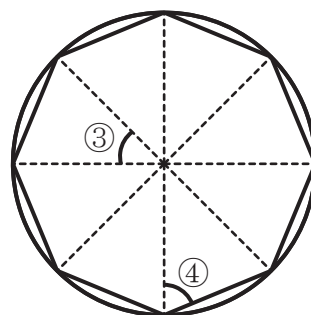
円の中心の周りの角を 4 等分 ($360^\circ \div 4 = 90^\circ$) するように半径をかいて、頂点を決めます。
頂点を結ぶと、正四角形がかけます。

【2】次の①から④の角度を求めなさい。

(1) 正五角形



(2) 正八角形



① 式 $360 \div 5 = 72$

答え 72°

② 式 $(180 - 72) \div 2 = 54$ または $540 \div 5 \div 2 = 54$

答え 54°

③ 式 $360 \div 8 = 45$

答え 45°

④ 式 $(180 - 45) \div 2 = 67.5$ または $1080 \div 8 \div 2 = 67.5$

答え 67.5°